

【編集後記】「熱中症予防」

短い梅雨が明け、全国的に猛暑となった。夏の時期に課題となるのが熱中症の防止であるが、今年は2つの点で例年と異なる事情がある。一つは、新型コロナウイルスの感染防止との兼ね合いである。高温多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクを高めることから政府は2メートル以上の距離を確保すれば屋外でのマスクの着用は必要ないとしている。しかし、感染が拡大する中、人の目を気にしてか炎天下でマスクをしている人を多く見かける。着用不要についてさらなる周知が必要である。二つ目は、節電要請下におけるクーラーの使用である。クーラーは、熱中症予防の最も効果的な方策であるが、電力需給ひっ迫注意報が出されたり、電気代を節約する意識もあってかクーラーの使用を躊躇する人もいる。当局は、クーラーについて「適正な利用」を呼びかけているが、もっと明確に「ためらわず最大限の活用」としてはどうか。毎年多くの高齢者が熱中症で亡くなっている。命を守ることを最優先に行動したいものである。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2022年8月号 (通巻45号)

- 発行日 令和4年8月25日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 高尾 和彦
- 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19 (ヤクルトビル内)
- TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851
- URL <https://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社